

# WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB

2023 年 4 月 24 日 第 1063 例会 VOL.25 No.37 TOTAL1004



2022-2023 年度  
 国際ローター会長 ジェニファー・ジョーンズ  
 国際ローターテーマ 「イマジン ローター」  
 第 2640 地区ガバナー 森本 芳宣

[例会日] 毎週 月曜日 12:30~13:30  
 [例会場] 和歌山市湊通丁北 2-1-2 ホテルアバローム紀の国  
 [事務局] 和歌山市本町 2-1 フォルデワジマ 2F (〒640-8033)  
 TEL 073-435-3470 / FAX 073-435-3472  
 E-mail : wa-az-rc@naxnet.or.jp



2022-23 年度 和歌山アゼリア R C のテーマ  
 会長 梅田 千景 / 幹事 井上 晴喜  
 『みんなを笑顔に』

----- 本日の例会 4 月 24 日 (月) -----

### 第 1063 回例会

☆次年度第 1 回クラブ協議会

「会長方針の発表」

次年度会長 北野 敏夫 会員

----- 次回の例会 5 月 8 日 (月) -----

### 第 1064 回例会

☆誕生祝い

☆今年度から次年度へ委員会引継ぎ

☆次年度委員会活動方針・事業計画作成

--- 前回の例会記録 4 月 17 日 (月) -----

### 第 1062 回例会

○ローターソング それでこそローター

○ゲスト紹介

NPO 法人エルトゥールルが世界を救う

理事長 富田 博文 様

理事 西廣 真治 様

米山奨学生 ハン・ヒナさん

○出席報告 会員数 30 名 (内出席免除 3 名)

本日の出席 4 月 17 日 20/27 名 74.07 %

メーキャップ 2 名

## 会長報告 梅田 千景 会長



皆さん、こんにちは。2 月 6 日にトルコ南部で起きた地震で、5 万 7 千人以上の方が犠牲になり、2 ヶ月たった今も 250 万人以上が避難していて、200 万人以上がテントで不自由な暮らし

をしています。トルコとの国交関係は、映画「海難 1890」にもなった、トルコ軍艦エルトゥールル号遭難事件から始まりました。今日は、富田様、西廣様に、色々お話をお伺いしたいと思います。

ちなみに 父は和歌山県のトルコ共和国名誉総領事です。この 4 月から受け入れとなる、米山記念奨学生のハン・ヒナさんが来られています。皆さん 2 年間仲良くお願いします。今日も、笑顔で過ごしましょう。

## 幹事報告 井上 晴喜 幹事



済生会和歌山病院の電動ベッドクラウドファンディングの募金箱を回しますのご協力お願い致します。

4 月 3 日と、12 日の臨時理事会の報告です。2022-23 年度地区立法案検討会選挙人より、「森本ガバナーに対し、2025-26 年度ガバナーの選出方法を議題とする地区立法案検討会の開催を請求する」ことについて、「請求クラブとして」これ以上混乱し、地区が分裂することは本意ではないので署名はしないことで承認されました。

次に、今年度 I M のホストクラブである和歌山北 R C

四つのテスト (言行はこれに照らしてから)

I . 真実かどうか II . みんなに公平か

III . 好意と友情を深めるか IV . みんなのためになるかどうか

より、和歌山市役所のIM基調講演の謝礼をお渡しできない代わりにして、30万円の寄付を市役所へ渡したいとの提案について、IM開催に際して、ご尽力を頂き大変心苦しいのですが、不明瞭な点等鑑み、賛同できない旨の返答をすることで承認されました。以上です。

## 委員会報告

### ◎ R財団・米山記念奨学委員会 野村 伸 理事

本日、米山カウンセラーの藤田会員がお仕事で遅くなっており、また、大野委員長もご欠席の為、代弁をさせていただきます。

4月9日の日曜日、2023年4月から再来年の3月までの間、米山奨学生を受け入れるにあたって「米山記念奨学会オリエンテーションと受け入れ奨学生の入学式」が開催され、次年度国際奉仕理事の大野さんが出席して下さいました。



今日は、ハン・ヒナさんがご挨拶に来て下さっていますので、ご紹介をさせていただきます。

国籍：韓国 大学：大阪公立大学 学部課程で、専攻は教育福祉学類だそうです。

皆さん2年間、ハンさんをよろしくお願いします。



4月分の米山奨学金をお渡ししました。



### ◎ 雑誌・広報・IT委員会 小阪 知 副委員長



ロータリーの友4月号についてご紹介させていただきます。

始めに横組みです。

8ページ～15ページには、ウクライナレポートとして、2022年秋に『ROTARY』編集長のウェン・ホアン氏がウクライナ西部のリビウを訪れた記事が掲載されています。そこに暮らす人々の回復力とロータリーの世界的なネットワークの広がり、

凄さを目の当たりして大変驚いたとのこと。特に15ページの6行目にあるボリスさんの言葉に表れています。

そのウクライナへの支援についての記事が、16ページ～17ページに載っています。ロータリー財団を通じてウクライナに救援物資が送られたとのこと。

他にもパキスタン洪水救援基金、そして今年2月には、トルコ・シリア地震の被災者を支援するための災害救援基金を決定するなど、世界の災害救援に多大なる貢

与えられています。また、今年2月には、トルコ・シリア地震の被災者を支援するための災害救援基金を決定するなど、世界の災害救援に多大なる貢

献をしている内容です。

次に、23ページに、森本ガバナーの記事として、第2640地区を公式訪問した時に、ガバナーの視点から地区の状況を語っておられます。

続きまして縦組みです。

22ページ～23ページのロータリーアットワークから、第2640地区の記事になります。

22ページには、海南RC、海南東RC、海南西RC合同での事業で、元旦に海南市の春日大社で開かれた書初め会に協賛されたとのこと。

23ページには、完成した和泉市役所の新庁舎前に、和泉RCがベンチを寄贈されたとの内容が記載されています。以上



## 外部卓話

### ◎「トルコ地震災害～トルコの日本の報恩の歴史～」

**NPO法人 エルトゥールルが世界を救う**

**理事長 富田 博文 様**

**理事 西廣 真治 様**



シルクロードの東西の端に位置するトルコ共和国と日本。両国は歴史的史実を経て130年の長きにわたり深く親交を結んできた。古くは、1890年の和歌山県串本沖におけるトルコ軍艦エルトゥールル号遭難救助劇。1985年のイラン・イラク戦争でのトルコ政府による邦人救出劇。これら二つの史実はトルコと日本の友好関係の象徴的出来事として今も両国民の脳裏に深く刻み込まれている。

そこで、我々は、これらの史実を多くの日本人へ伝えるべく、映画「エルトゥールル」の制作・興行・上映会の支援、講演会活動等を行い、これに学び、両国民の持つ優れた人間的資質に今一度光を当てることにより、両国間の通商拡大及び民間交流を図ると共に、トルコ共和国と日本国の相互協力による世界平和構築に寄与することを目的とし、2012年に特定非営利活動法人「エルトゥールルが世界を救う」を設立しました。

エルトゥールル号遭難時の和歌山県串本樫野の村民の献身的な救助活動。圧制に苦しめられていた帝政ロシアのバルチック艦隊を撃滅した大日本帝国海軍を賞賛した建国の父ムスタファ・ケマルの明治天皇に対する深い敬愛の念。戦後急速な復興を成し遂げた日本人の勤勉さと技術力に対する畏敬の念。トルコ北西部地震での素早い日本の復興援助に対する感謝の念……。これら両国の歴史的な積み重ねで醸成されたトルコの人々の親日感情が、イラン・イラク戦争での邦人救出劇や東日本大震災・紀伊半島豪雨でのトルコの献身的な救援活動によく現れています。

これらの歴史的史実を踏まえ、世界の「平和と調和」への道を伴い切り開く日本のベストパートナーはトルコ共和国において他にないと思います。

日本人はトルコの人々の日本に対する友好的な感情を理解していません。日本人が、トルコの人々が日本に抱く感情と同様の思いをトルコに持つようになることが、アジアから世界の「平和と調和」を築く一つの方策となるのではないでしょうか。

エルトゥールル号の事故の物語から始まる日本とトルコの歴史的友好秘話を、より多くの日本人に知ってもらうことにより、日本人の親トルコ感情が高まり、ひいては民間レベルでの交流と連携が強まり、更にそれが国と国の強固な関係を促進します。

いま一つ重要なことは、現在の日本人が失った「何か」をトルコ国民は持っているということです。それはイラン・イラク戦争の時に示されたトルコ人の「武士道精神」です。

テヘランの空港に取り残された在留日本人 215 人。当時は自衛隊の海外派遣が法律で禁じられており、日本航空も安全確保が成されていないということで日本から救援隊が出せない状況に陥った時、当時の日本大使館・野村豊大使がトルコ大使館のビルレル大使に助けを求めると、トルコ政府は撃墜の危機の中、果敢に特別機を飛ばし邦人全員を救出しました。これはエルトゥールル号の恩返しという見方もありますが、トルコ国内の見方は違うという話もあります。

「トルコ人は助けを求められたら躊躇せず助ける」というのです。これこそエルトゥールル号乗組員の救援に命を懸けた大島の島民の精神です。何故この精神が邦人救出の際にトルコで発揮されたかということに対して一つの答えがあります。それは、エルトゥールル号事故での大島島民の決死の救出劇がトルコの小学校の教科書に載っているのです。「人間はこのようにあるべきである」という「人の生き方」をトルコでは小学校から教えているのです。

今なお報恩の歴史が刻んでおります。当 NPO 法人では、トルコ・シリア大地震への支援として 4 月 17 日チャリティ上映会を開催し、300 名を超える参加者と 216,000 円の義援金を会場からいただきました。

現在合計約 200 万円に上る義援金を預かっております。5 月末頃に皆様からお預かりいただいた義援金をトルコ大使館に持参する予定でございます。

今後とも地道な活動から世界平和を願う「NPO 法人エルトゥールルが世界を救う」にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人エルトゥールルが世界を救う

文責：理事 西廣真治



## S.A.A.報告 (3つの箱)

### ◆ニコニコ箱

#### 梅田 千景会長

富田様、西廣様、今日はよろしく申し上げます。今日の映画観に行けなくて残念です。

ハン・ヒナさん、2年間よろしく申し上げます。

#### 井上 晴喜幹事

富田様、西廣様、本日はお忙しい中お越し頂き有難うございます。ハン・ヒナさん、はじめまして！

#### 後和 信英会員

エルトゥールルが世界を救う 富田様、西廣様、ようこそお越し下さいました。本日は宜しくお願い致します。

#### 堀本喜久子会員

卓話楽しみです。ハン・ヒナさんようこそ！

本日はつたない進行にお付き合い下さいまして、ありがとうございました。

#### 北野 敏夫会員

エルトゥールル号の件では、和歌山の先人を誇りに思います。富田様、西廣様、本日はどうぞよろしくお願



い致します。

**阪口 昌子会員**

本日の卓話、エルトウールルが世界を救う～とても楽しみにしております。

**田原サヨ子会員**

富田さん、西廣さん、ようこそお出で下さいました。本日の卓話楽しみにしております。

6月11日のホテル観賞会、ぜひお出で下さい。お待ちしております。

**本日合計額 17,000円 累計額 1,138,500円**

**◆ロータリー財団**

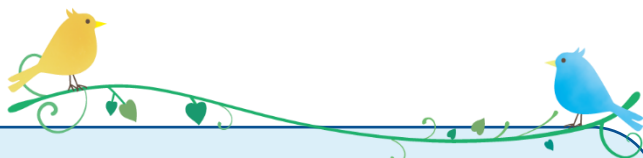
井上 晴喜会員 阪口 昌子会員

**本日合計額 4,000円 累計額 362,000円**

**◆米山記念奨学会**

阪口 昌子会員

**本日合計額 2,000円 累計額 207,000円**



**济生会和歌山病院「電動ベッド導入プロジェクトクラウドファンディング」例会寄付**

本日合計額 7,836円 累計額 18,357円

2回の例会にて会員皆様より頂きました募金と、社会奉仕委員会予算より提出し、計100,000円をご寄付させて頂きました。ご協力ありがとうございました。

**+++++++ 今後の予定**

**5月29日(月) 16:00~18:00**

**「ワンワン基金」街頭募金活動**



於：JR和歌山駅近鉄百貨店前にて行います。

募金活動後は夜間例会

於：ホテルグランヴィア和歌山 6F ル・グラン

18:30~20:30

+++++++



**◆市内ロータリークラブ例会情報**

クラブ名	日時	内容
和歌山北	4月24日(月)	会員卓話「未定」 開発康隆会員
和歌山	4月25日(火)	「活動報告 & 子供への命の授業『わうくらす』について」特定非営利活動法人 WITH DOG 代表 徳丸希和 さん
和歌山東南	4月26日(水) 12:30~	外部卓話「サボステ With You」若者サポートステーションわかやま 総括コーディネーター 爲岡 容 様
和歌山西	4月26日(水)	例会場所変更 於：サンクシェール
和歌山東	4月27日(木)	祝日週休会
和歌山城南	4月27日(木)	祝日週休会
和歌山南	4月28日(金) 18:30~	例会時間変更：夜間例会
和歌山中	4月28日(金)	祝日週休会

**◎サイン受付**

和歌山西RC：4月26日(水) 12:00~12:30

ラヴィーナ和歌山

和歌山南RC：4月28日(金) 12:00~12:30

ダイワロイネットホテル 4F

**◎休 会**

和歌山東RC：4月27日(木) 祝日週休会

和歌山城南RC：4月27日(木) 祝日週休会

和歌山中RC：4月28日(金) 祝日週休会



